

SPECIAL 特集 FEATURE

精神障害者の地域移行からアウトリーチまで

OECD 諸国との比較から日本の精神科医療を考える 伊藤弘人

精神障害者の地域移行・地域定着に関する今後の施策について 工藤一恵

精神障害者アウトリーチ推進事業と保健師への期待 萱間真美

精神障害者の地域移行推進に向けて保健所の果たすべき役割 柳尚夫

【地域移行, 地域定着の先進事例】

保健所がコーディネーターとなって進める地域移行からアウトリーチまで 成相房枝

保健所と精神保健センターによるアウトリーチの限界と可能性 西川里美

保健・医療・福祉の相互理解と協議をめざして 後藤盛聡

PHOTO & PICK UP 「まちづくり」の現場

地域と学校との協働で「健康へゴー!」 碧南市生活習慣病若年化対策事業の新たな取り組み 藤井琴弓・ほか

調査報告 保健所が取り組むがん患者への在宅緩和ケアの課題 細田舞・ほか

新連載 育児幸福感 母親支援の新しい形 清水嘉子

『保健婦雑誌』に見る戦後史 木村哲也

連載 ニュースウォーク(169) 白井正夫／看護系大学・研究所からのメッセージ(88) 長野県看護大学

編集後記

●東日本大震災以来、地震源が目覚めたのか、各地で地震が起きている。海上はるか沖合いで地震が起きた場合、地震の揺れは小さくとも、襲来する大津波によって、大きな被害をもたらす危険があるという。「地震＝災害」とは限らないが、対策がないところで地震が起ると災害が発生する。発生したら、あわてず騒がず、素早い対応である。災害心理学の専門家によれば、地震や火事に巻き込まれても、多くの人々はパニックにならないらしい。ただ、情報が間違っていたり、遅れることで、人々の判断に誤りを生じさせ、パニックになるという。正しい情報を早く得られるよう備えておこう。(杉之尾)

●震災以降、3.11 という日付には特別な意味が宿りました。保健師はいまもこれからも大きな健康課題に直面することでしょう。そのときに本誌が少しでも役に立つようであれば、と願わずにいられません。●一方、震災の傍らで忘れられてしまいそうなことも少なくありません。本号で取り上げた口蹄疫をはじめ、国内では台風被害や火山の噴火、海外では東スーダンでの大干ばつなど、目を向けなければならない問題が山積しています。●佐甲隆先生による連載「のびのび保健師活動ストレッチ」が今号で最終回となりました。保健師のみなさまがのびのびと活動に従事できますよう。(小路)

保健師ジャーナル 第68巻 第3号 2012年3月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

1部定価：1,365円(本体1,300円+税5%) 2012年年間予約講読料(税込, 送料無料)：冊子版15,000円 冊子+電子版/個人18,000円 冊子+電子版/共有20,300円 電子版/個人15,000円 電子版/共有17,300円 販売部：☎(03)3817-5657

保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当 小路／杉之尾／伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。